

ネイチャーポジティブな生産と持続可能な調達に向けて：
外部からの関心や介入は、現地の生産者の実態やニーズと乖離する場合がある。生産地の状況に対する十分な理解がなければ、ネイチャーポジティブを目指した取り組みであっても、期待される効果を伴わない、あるいは負の影響を及ぼす可能性も生じる。

地球環境戦略研究機関（IGES）

生物多様性と森林領域

藤崎泰治

山ノ下麻木乃

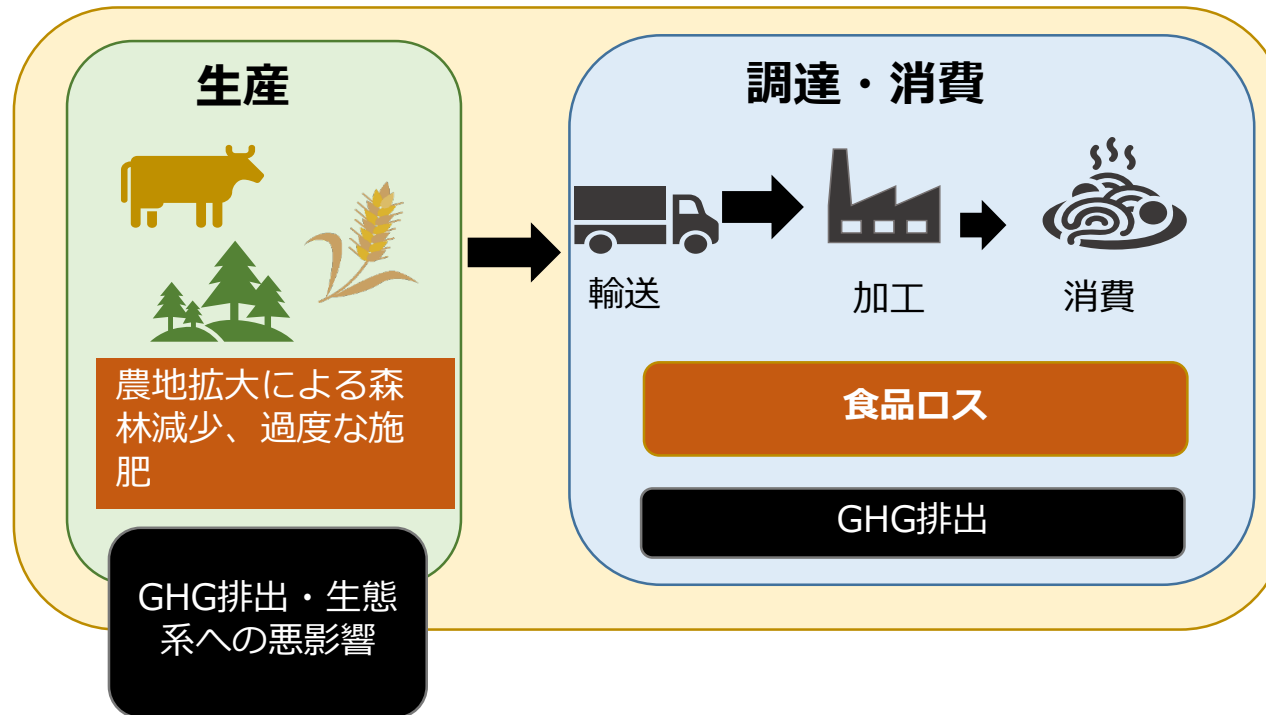
この発表は、令和4年度東京大学UT-CGC「持続可能なフードシステムの構築のための食料バリューチェーンにおける環境負荷等の見える化に関する研究開発業務（ガーナ、カカオ）」、および環境省の令和5年度内閣府補正予算「ASEAN地域のサプライチェーンのネイチャーポジティブ化推進に関する調査研究（ベトナム、木質ペレット）」の成果に基づいています。

ネイチャーポジティブな生産と持続可能な調達に向けて

生産地が持続可能になることが不可欠



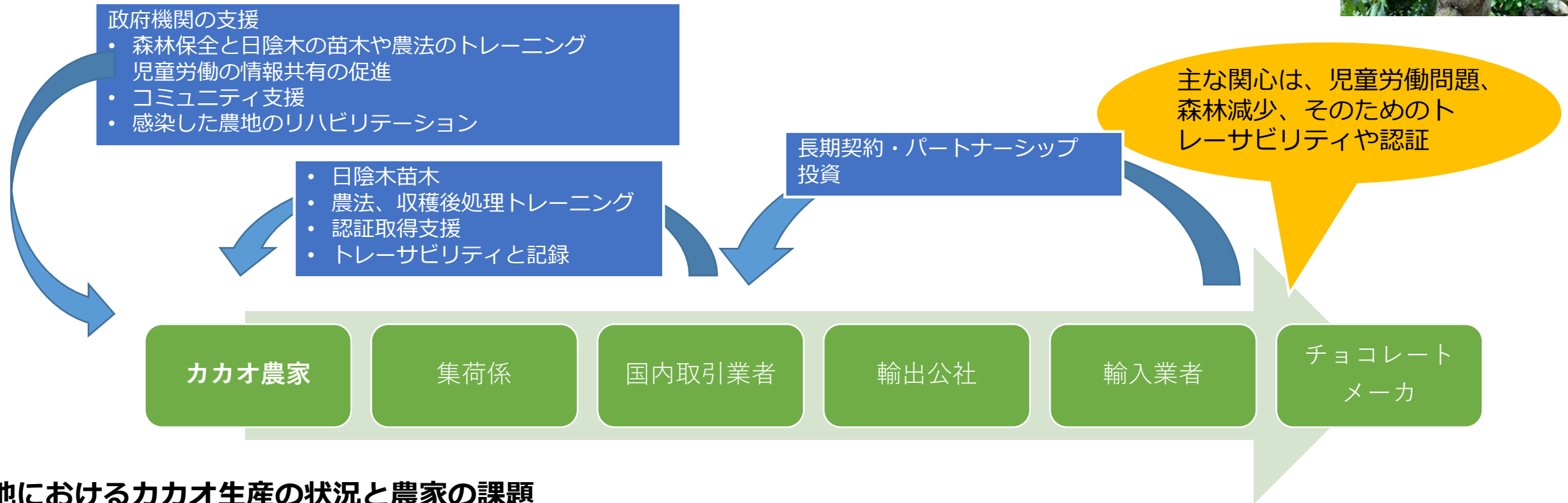
- 現地の生産が、**森林減少を引き起こさない**
- 既存の生産地で適切な施行を行い、生産地を維持、長期的に**持続可能な生産性を確保**



自然へのネガティブな
インパクトが大きい

- 輸入・調達基準（例：EUDR）
- グローバルな潮流：TNFD等
- 企業の取組：サプライチェーン管理や現地支援
 - Due Diligenceシステム
 - トレーサビリティシステム
 - 認証の利用
 - サプライヤーとの連携
 - 現地支援

ガーナの力カオ生産：2村への質問票調査で明らかになった、農家が直面している困難と支援のギャップ
森林減少や児童労働リスク評価だけでなく、農地や生産者の状況・課題を理解していないと力
カオの調達に重大なリスクが生じる可能性がある。



調査地における力カオ生産の状況と農家の課題

- ・ **収穫量大幅減**：降雨問題、病害、肥料・農薬不足（半数超が過去1年施肥ゼロ）
- ・ **世帯収入減少**：2022年には21%の世帯が国際貧困ライン以下に
 - ・ **アグロフォレストリー支援の偏り**：多くの農地でシェードツリーはすでに植えられているにも関わらず、苗木配布が支援の中心。他作物種子の配布は稀。
 - ・ **認証制度の限界**：認証取得が農家の課題解決につながっていない：収穫量低下、価格プレミアを受け取れたのは販売量の半分程度。価格プレミアは販売総額の平均2～3%程度
 - ・ **政府支援には地域差が大きい**

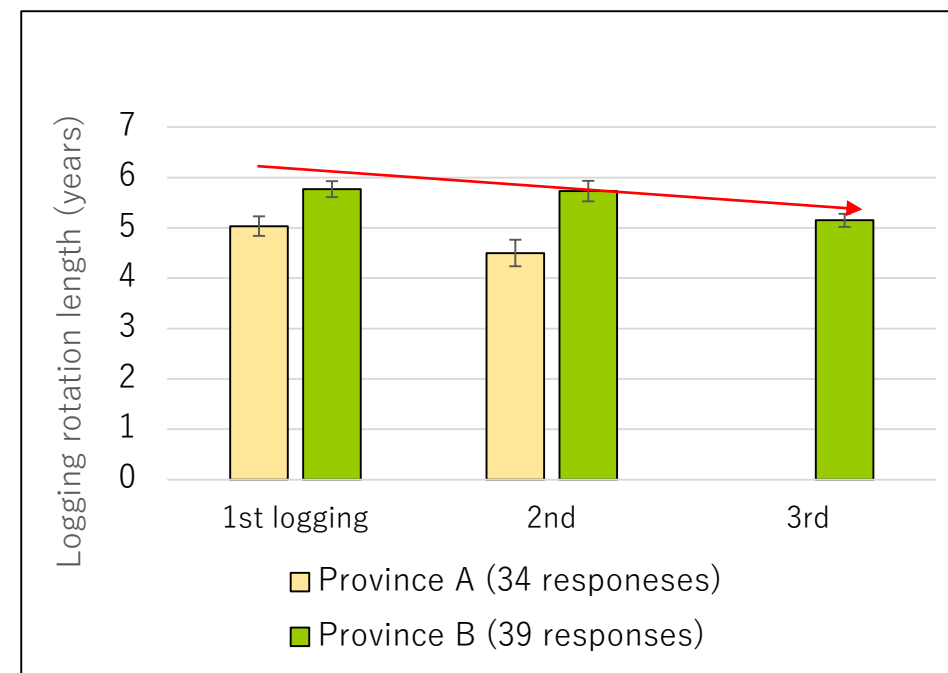
ベトナムの植林地管理：木質ペレット生産による過度の短伐期化
日本のカーボンニュートラルを目的とする施策が、ベトナム
現地の長伐期化政策を阻害し、結果として植林地の非持続的
な施業を促進する可能性も指摘される。

- ベトナムでは、日本や韓国のカーボンニュートラルを目的としたバイオマス発電の需要増に伴い、木質ペレットの生産が急増
- ペレット生産には、木材チップなど他の用途に比べ小径の丸太が利用される傾向がある。
- 元々木材チップ用に短伐期で伐採されていた植林地では、このペレット生産の需要により、伐採サイクルがさらに短期化
 - 2つの調査地域では、最低伐採原木サイズが減少し、伐採期間が短縮。
 - B県（平均 5.769 ± 0.97 年 $\rightarrow$ 5.15 ± 0.34 年）
- 伐採後、地持ちのため全面的に火入れが行われることが多い

植林地の拡大が天然林を引き起こすリスクは低い。しかしながら、全面的な火入れを伴う過剰に短い伐採サイクルは、森林バイオマスの減少、火入れによる排出量増加、そして生産性の低下といったリスクを高める。



調査した2省で伐採サイクルが短くなっている



ネイチャーポジティブな生産と持続可能な調達に向けて

- 外部からの関心や介入は、時に**現地の生産者の実態やニーズと乖離する**場合がある。生産地の状況に対する十分な理解がなければ、ネイチャーポジティブを目指した取り組みであっても、**期待される効果を伴わない、あるいは負の影響を及ぼす可能性**も生じる。
- トレーサビリティの活用を通じて生産地とつながる。現地の状況を特定し、その現状を詳細に把握する必要がある。その上で、**生産者を含む現地関係者との協議を通じて、持続可能な発展に向けた方策を共同で検討**することが重要である。
- このプロセスが欠如すれば、現状維持に留まるか、あるいは**脆弱な立場にある小規模生産者がサプライチェーンから排除される**事態を招きかねない。

